

PAT-NO: JP408169620A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08169620 A

TITLE: FACSIMILE DEVICE

PUBN-DATE: July 2, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

YOKOYAMA, HIROSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

NEC CORP

N/A

APPL-NO: JP06333064

APPL-DATE: December 14, 1994

INT-CL (IPC): B65H033/04, B65H003/44, H04N001/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To simplify sorting of received documents in a facsimile device.

CONSTITUTION: Sorting sheets for sorting received documents are provided besides recording sheets for recording received documents. Sorting sheets of different kinds of paper sheets (size, color, etc.) from that of the recording sheets are stored in a sorting sheet cassette 6. When a document is received, a facsimile reception control unit 1 gives a selection signal to a cassette selection unit 2 to select the cassette. Either a cassette 7 or a cassette 8 is selected according to the size of the received document. Judgment is made as to whether the document to be printed is the last page or not, and upon completion of printing the last page, the cassette selection unit 2 selects the sorting sheet cassette 6 and supplies the sorting sheet. Thus received documents, which are divided by the sorting sheet, can be easily sorted as the reception side.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-169620

(43) 公開日 平成8年(1996)7月2日

YOKOYAMA
Sheet sort

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 H 33/04				
3/44	3 4 2	8712-3F		
H 0 4 N 1/00	1 0 8 M			

審査請求 有 請求項の数 3 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平6-333064

(22) 出願日 平成6年(1994)12月14日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 横山 弘士

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

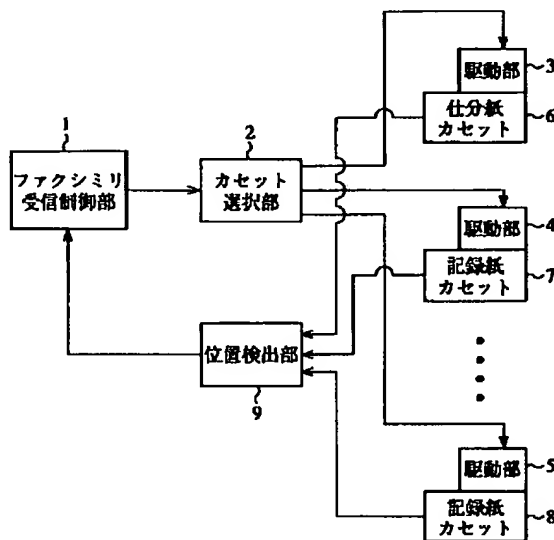
(74) 代理人 弁理士 小橋川 洋二

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【目的】 ファクシミリ装置において受信文書の仕分けが簡単にできるようにする。

【構成】 受信文書を記録する記録紙のほかに、各受信文書を仕分けするための仕分紙を設ける。仕分紙は、記録紙とは種類（サイズ、色等）の異なる紙を使用し、仕分紙カセット6に収容される。文書を受信したら、ファクシミリ受信制御部1はカセット選択部2に選択信号を与え、カセットを選択する。受信文書のサイズに応じてカセット7またはカセット8のいずれかが選択される。印字する文書が、受信文書の最終頁かを判定し、最終頁の印字が終了したら、カセット選択部2は仕分紙カセット6を選択して、仕分紙を供給する。これにより、受信文書は、仕分紙によって区切られ、受信側では簡単に仕分けができるようになる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 受信データを記録する記録紙を供給する第1の給紙手段と、前記記録紙とは種類の異なる紙から成る仕分紙を供給する第2の給紙手段と、受信して記録した文書の最終頁を検知する検知手段と、制御手段とを備え、前記制御手段は、前記最終頁が記録された後に前記仕分紙を供給するように前記第2の給紙手段を駆動することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 前記仕分紙の色またはサイズが前記記録紙と異なる請求項1に記載のファクシミリ装置。

【請求項3】 受信データを記録する記録紙を供給する第1の給紙手段と、前記記録紙とは種類の異なる紙から成る仕分紙を供給する第2の給紙手段と、受信文書の最初の頁を検知する検知手段と、制御手段とを備え、前記制御手段は、文書の最初の頁については前記仕分紙を供給し、2頁以下については前記記録紙を供給するように前記第1および第2の給紙手段を駆動することを特徴とするファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ファクシミリ装置に関し、特に複数文書を受信したときにそれらを簡単に仕分けられるようにしたファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、記録紙としてカット紙を用いたファクシミリ装置においては、受信した文書を同じ種類の記録紙に記録して出力しているのが一般的である。受信文書と通信管理レポートの記録紙を使い分けするようにした装置も提案されているが（特開昭63-209364号、特開平1-291568号等）、これらの装置においても、受信文書については、同じ種類の記録紙によって記録している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】この従来のファクシミリ装置では、複数の受信文書を同じ種類の記録紙に印字しているため、受信側において、受信文書の内容を読んで確認しながら文書の仕分けを行なう必要があり、仕分けのために手間や時間がかかっていた。また、仕分けをするためには、受信した文書にある程度目を通さなくてはならず、秘密保持の点でも問題があった。

【0004】本発明は、上記の点にかんがみて成されたもので、ファクシミリ装置において受信文書の仕分けが簡単にできるようにすることを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、請求項1の発明においては、受信データを記録する記録紙を供給する第1の給紙手段と、前記記録紙とは種類の異なる紙から成る仕分紙を供給する第2の給紙手段と、受信して記録した文書の最終頁を検知する検知手段とを設け、最終頁が記録された後に、仕分紙が供給され

るべく第2の給紙手段を駆動するようにした。

【0006】また、請求項2の発明においては、受信文書の最初の頁を仕分紙に記録するようにした。

【0007】

【作用】受信文書間に仕分紙を挿入するようにしたので、受信文書の仕分けが簡単になる。

【0008】

【実施例】次に本発明について図面を参照して説明する。図1は本発明の一実施例を示し、記録紙は複数の記録紙カセット7～8に収容されている。仕分紙カセット6には、他の記録紙カセット7～8に入っている記録紙よりサイズが大きい、受信文書を仕分けするための仕分紙が収容されている。各カセット内の紙は、駆動部3～5によって記録部（図示せず）へ供給される。駆動部3～5は、たとえばモータにより駆動される回転ローラ等を備え、カセット選択手段2からの駆動信号に応じて駆動される。カセット選択手段2はファクシミリ受信制御部1からの信号を受けて駆動すべきカセットを選択する。

20 【0009】記録紙カセット7～8および駆動部4～5によって第1の給紙手段が構成され、仕分紙カセット6および駆動部3によって第2の給紙手段が構成される。

【0010】位置検出部9は、各カセット6～8からの信号を受けて各カセットの位置を判別し、その結果をファクシミリ受信制御部1へ出力する。したがって、カセットの配置が変わってもファクシミリ受信制御部1は各カセットの位置がわかるようになっている。

【0011】カセット7～8の記録紙は、受信文書だけでなく、管理レポート用にも使用される。管理レポートとしては、通信先、日時、頁数等の送信ごとのデータを記録したもの、またはファクシミリ装置内の状態を示すデータが記録されているもの等がある。

【0012】次に実施例の動作について図2のフローチャートを用いて説明する。まず、文書が受信された時、または管理レポートを出力する場合（201）、ファクシミリ受信制御部1はカセット選択部2に選択信号を与え、カセットを選択する（202）。図1の装置においては、カセット7またはカセット8のいずれかが選択される。いずれを選択するかは、受信文書（管理レポート）のサイズに応じて予め決められている。

【0013】次に、カセット選択部2は選択されたカセットの駆動部を指示して給紙させ、記録部（図示せず）は供給された記録紙に印字する（203）。ファクシミリ受信制御部1は受信した制御信号から受信文書の最終ページを検出し、その最終ページの印字が終了したかどうかチェックする（204）。最終ページの印字が終了したら、カセット6を選択し（205）、駆動部3を駆動して仕分紙を排出する。

【0014】図3は、上記装置によって、3回の受信文書を受けた場合を示し、各受信文書文書31、32、3

3

3ごとに、それぞれ仕分紙34、35、36が排紙され、しかも仕分紙34～36は、文書31～33よりサイズが大きいので、それにより受信文書は各々区切られ、受信側においては仕分紙のところで受信文書を分けられるだけでよい。したがって仕分けが従来より格段に簡単になり、さらに、各文書の内容をいちいち読まなくても仕分けできるので、秘密保持上の問題も解消される。

【0015】なお、仕分紙は上記例のようにサイズの異なるものだけでなく、サイズは他の記録紙と同じで色が違うものを使用するようにしてもよい。図4はその例を示したもので、文書31、32、33は、同サイズで色違いの仕分紙36～38で仕分けられる。この場合も仕分紙36～38は、カセット6から供給される。

【0016】図5は本発明の別の実施例の動作を示すフローチャートである。この実施例の装置の構成は図1と同様である。カセット6に、他の記録紙とサイズまたは色の異なる仕分紙を収容するが、本実施例では、この仕分紙に文書の1頁目を印字し、2頁目以降を他の記録紙に印字する。

【0017】すなわち、図5のフローチャートにおいて、まず文書受信すると(501)、それが1頁目かをチェックし(502)、1頁目であれば仕分紙の収容されたカセット6を選択する(503)、1頁目でなければ通常の記録紙の入ったカセット7または8を選択し(503)、印字する(504)。これを最終頁まで繰り返す(505)。

4

【0018】上記実施例においては、仕分紙は他の記録紙の近くに配置されたが、本発明は特にそれに限らず、仕分紙は排紙側に配置するようにしてもよい。要するに、仕分紙は受信文書同士を仕分けるように供給できればよい。

【0019】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、印字した文書の境として、仕分紙を挿入することにより、簡単に受信文書の仕分けができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例のブロック図

【図2】図1の実施例の動作を説明するフローチャートである。

【図3】受信文書が排紙部に積載された様子を示す図である(仕分紙として異なるサイズの紙を使用)。

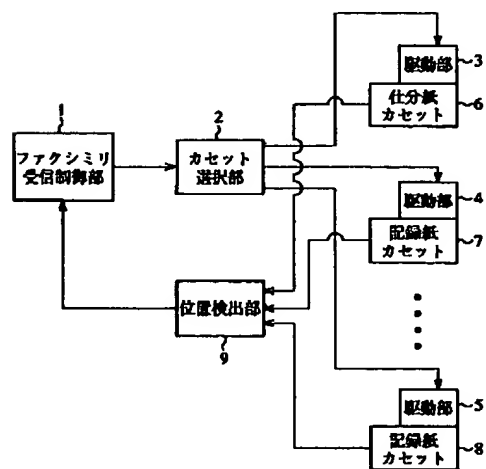
【図4】受信文書が排紙部に積載された様子を示す図である(仕分紙として異なる色の紙を使用)。

【図5】別の実施例の動作を示すフローチャートである。

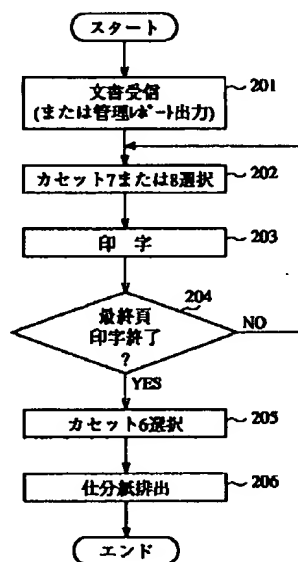
【符号の説明】

- 1 ファクシミリ受信制御部
- 2 カセット選択部
- 3、4、5 駆動部
- 6 仕分紙カセット
- 7、8 記録紙カセット
- 9 位置検出部

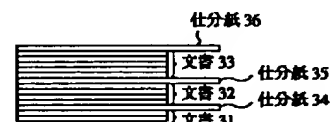
【図1】



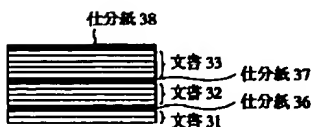
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

